

# 明日も Be Happy ! no.12

## Be Happy ! その 16

### 防災訓練

7月19日(火)防災訓練を実施しました。生徒・教職員全員の垂直避難訓練(地震、津波)を想定し3階・4階への避難移動する訓練と、有志の生徒・教職員における災害対応訓練の二部構成の同時進行で展開しました。

- ①垂直避難訓練は、全校生が垂直避難するのではもちろんのこと、松葉杖の生徒を保健室から避難するサポートなど工夫を凝らして、避難・点呼訓練をしました。その後、各HR教室へ戻り、「ためらわずに避難を！水害から命を守る備えと避難行動」「記録の大雨から命を守る10箇条」のDVDを視聴し、EARTH隊員によるリモート講義形式で指導助言をいただきました。その間、クラス代表が訓練の反省、課題などを話し合い、年次ごとの意見をまとめて、全体合同会議で発表しました。
- ②避難所開設訓練は、友沢町内会10名、加古川市防災部防災対策課2名、TEAMあげあげ代表1名、EARTH隊員1名、管理職3名、主幹教諭1名、有志生徒5名で、過去の災害による地域住民の不安や意見を伺いました。学校側は、「出来ることをしっかりと整理して、少しでも地域住民の安心できるネットワーク構築や絆の第一歩にしていきたい」と伝えました。
- ③自衛隊と連携は、自衛隊2名、教職員2名、有志生徒3名で、加古川地域事務所長から迅速避難や命の危機など説明していただき、次年度の災害訓練の内容を話し合いました。
- ④消防署との連携は、加古川中央消防1名、教職員2名、生徒7名で、事前に水害、地震、火災の災害を想定し、Q&A方式で各生徒からの質問や疑問に丁寧に答えていただきました。加古南の卒業生である消防隊の方の、命を守る責任ある任務からの経験談が飛び交い、生徒も真剣そのものの空気でした。
- ⑤情報収集伝達班は、ドローン操縦アドバイザーでもある企業の代表の方1名、教職員2名、生徒7名で、ドローンによる情報収集、高機能トランシーバーの活用方法などのアドバイスを受けました。ドローンによる撮影が現実的になった今、7名の生徒は目を輝かせながら興味津々で聞き入っていました。
- ⑥記録班は、教職員2名、生徒8名で、今回の各訓練の動画や静止画を撮り、その記録を基に、今回の訓練の検証や広報に活用するため、iPadやカメラを駆使して活動を行いました。

以上、①から⑥のパートの代表生徒が、関係機関合わせて総勢44人の第1回合同全体会議に出席し、それぞれのパートで報告を発表しました。どの生徒も緊張感の中にも堂々とした態度で論点をまとめ発表しており、そのコミュニケーション能力と表現力を頼もしく感じま

# 明日も **Be Happy!** no.12

した。

この合同全体会議では、参加された関係団体のすべての皆様から、指導助言やご意見・感想をいただきました。加古南の今後の防災や減災に取り組む活動にご理解とご支援と大きな期待の籠もったお言葉は、会議に出席した生徒や教職員の心に響きました。さらに参加した職員から、それぞれの情報を共有して、次のステップを歩むべきという、早くも次年度の7月に向けての方向性を示唆する意見も出て、校長として本当に心強く感じました。

すべての活動が生徒、教職員の主体性のもと、防災や減災を基軸にすえ、関係機関の指導助言を賜りながら、地域との連携を図り、「加古南生、今何ができるか」をテーマに、防災について改めて深く考えるきっかけとなった一日でした。地域・関係機関の皆さんに、感謝申し上げます。 **Be Happy!**



垂直避難訓練



点呼確認



防災教材 DVD 鑑賞



EARTH 隊員による指導・助言



代表生徒発表



第1回全体合同会議